

LaunchDarkly ➔

開発サイクルの高速化とリスクの抜本的削減

デプロイ頻度 100 倍、変更失敗率 0.1% を実現する次世代リリース戦略

「リリースの恐怖」が、アジリティを蝕んでいませんか？

貴社のような先進的なデジタルサービスを開発する企業にとって、開発スピードは生命線です。しかし、そのスピードを追求するほどに、本番環境での障害リスクは増大します。

- ・ リリース日が近づくと、複雑なマージ作業と回帰テストに追われる
 - ・ デプロイ後の数時間は、障害が発生しないか常に緊張を強いられる
 - ・ 万が一の障害発生時、原因特定とロールバックに多大な時間を要する
- この「スピード vs 安定性」のジレンマが、開発チームの疲弊を招き、本来のイノベーションを阻害する大きな要因となっています。

デプロイとリリースを分離する「フィーチャー マネジメント」という新常識

このジレンマを解決する鍵は、コードの「デプロイ（配備）」と機能の「リリース（公開）」を完全に分離することです。LaunchDarkly は、フィーチャーフラグ（機能の ON/OFF スイッチ）を用いてこれを実現します。新機能のコードをいつでも安全に本番環境へデプロイし、ビジネスの準備が整った最適なタイミングで、管理画面から機能を ON にする。このシンプルな概念が、開発プロセスに革命をもたらします。

DORA メトリクスを劇的に改善する LaunchDarkly の効果

LaunchDarkly は、DevOps の成熟度を測る世界的な指標である DORA メトリクスを飛躍的に向上させます。

Paramount 社: デプロイ頻度 100 倍向上
(月 2 回 → 1 日 6~7 回)
Honeycomb 社: 変更失敗率 0.1%
(業界平均 5~15% を大幅に下回る)

- デプロイ頻度の向上: リスクが分離されることで、チームは自信を持って頻繁にデプロイできます。これにより「トランクベース開発」が安全に実践可能となり、開発のボトルネックが解消されます。
- 変更失敗率の低下: 各機能は「キルスイッチ」として機能し、問題発生時に瞬時に機能を無効化できます。再デプロイ不要で、ユーザーへの影響を最小限に抑えます。
- MTTR (平均修復時間) の短縮: 監視ツールとの連携により、インシデントの原因となった機能リリースを迅速に特定。即時無効化できるため、Jackpocket 社では MTTR を 10 分未満に短縮しました。

エクセルソフトが実現する安心の日本語サポートと円滑な導入

LaunchDarkly は海外の先進的なプラットフォームですが、弊社エクセルソフトが国内正規代理店として、導入から運用までを全面的にサポートいたします。

- ・ 完全日本語での技術サポート
- ・ 日本円でのご契約・お支払い
- ・ 国内企業様への豊富な導入支援実績

貴社の開発チームが安心して、世界最先端の開発プラクティスへ移行できるよう、私たちが責任をもってご支援します。

貴社の開発プロセスを次のステージへ。

まずは、30 分間のオンラインデモで、LaunchDarkly がもたらす変革をご体感ください。

[お問い合わせ先]

エクセルソフト株式会社

ウェブサイト: xlsoft.com/launchdarkly

電話番号: 05-5440-7875

メール: xlsoftkk@xlsoft.com

